

個別指導キャンパス福盛代表インタビュー

もうすぐ夏休み。休みになると遊びやクラブに夢中になり、夏休みの宿題や苦手単元の復習がおろそかになってしまつ子どもも…。特に受験生の保護者は「このままで大丈夫？」「と不安を抱えている方も多いのでは。「個別指導キャンパス」(北区)では長年にわたる教育現場で培ったノウハウを生かし、子どもたちの成績アップ・志望校合格に導いているという。代表の福盛訓之さんに、この夏を有意義に過ごすためのアドバイス聞いた。



「生徒一人一人に合わせたオーダーメイドカリキュラムを作成し、集中的に強化します」と話す福盛代表

夏は生活習慣整えて 基礎固め徹底、成績向上へ

「夏休み前、どのような相談が多いですか？」

「勉強のやり方が分かっていない」「学習意欲が持続しない」「苦手教科はどのようにしたら克服できるのか？」といった内容の相談が最も多いです。

「個別指導キャンパスでは、入塾してしばらくすると、コツコツ自立学習できるようになると評判ですが。」

「お子さまの現状や性格傾向などを分析することで、自信を持たせてモチベーションを上げる指導を可能としています。」

「生徒2〜3人に対して1人の講師が担当し、常に講師が横にいた状態で徹底した反復学習を行います。勉強のやり方指導にも力を入れているので、「わかる楽しさ」を体験し

たお子さまが自分からコツコツと学習できるようになるのです。

「勉強してほしいと思つ半面、思春期のお子さんへの声かけに悩む保護者も。どのように接するのが良いのでしょうか？」

「親としては心配なあまり、つい感情的になつて不平不満を口にしがちです。しかし、人は「勉強したい」と言われれば勉強したくなくなるものです。ネガティブな言葉はモチベーションを下げてしまいませう。いろいろな口をばさる、夏バテしないよう

みたくなる気持ちをグッとこらえて、お子さまが前向きになれるような声かけを心がけるようにしてください。

わが子が必要以上に心配するのではなく、きつと明るい将来が待っている信頼するようになしてください。

「夏休みを有意義に過ごすためのアドバイス。」

「夏休みは学校で学習した範囲をじっくり復習できる貴重な期間。学校の授業が無くても早寝早起きを心がけて、夏バテしないよう

にきちんと1日3食とるなど、まずは生活習慣が重要です。

また、1日、1週間のスケジュールを立て、学校の宿題をいつまでにどれだけ仕上げたか、あらかじめ計画を立てておくことも必要です。基礎固めを徹底し、2学期以降の成績アップにつなげていきましょう。お子さま自身も自分の可能性を信じ、向学心を持って夢を実現できるよう、当塾でもサポートしていきます。と考えております。(聞き手・上部武宏)

大阪発
げんき発信
水曜プラザ